

発行所 一般財団法人 経済産業調査会 近畿本部

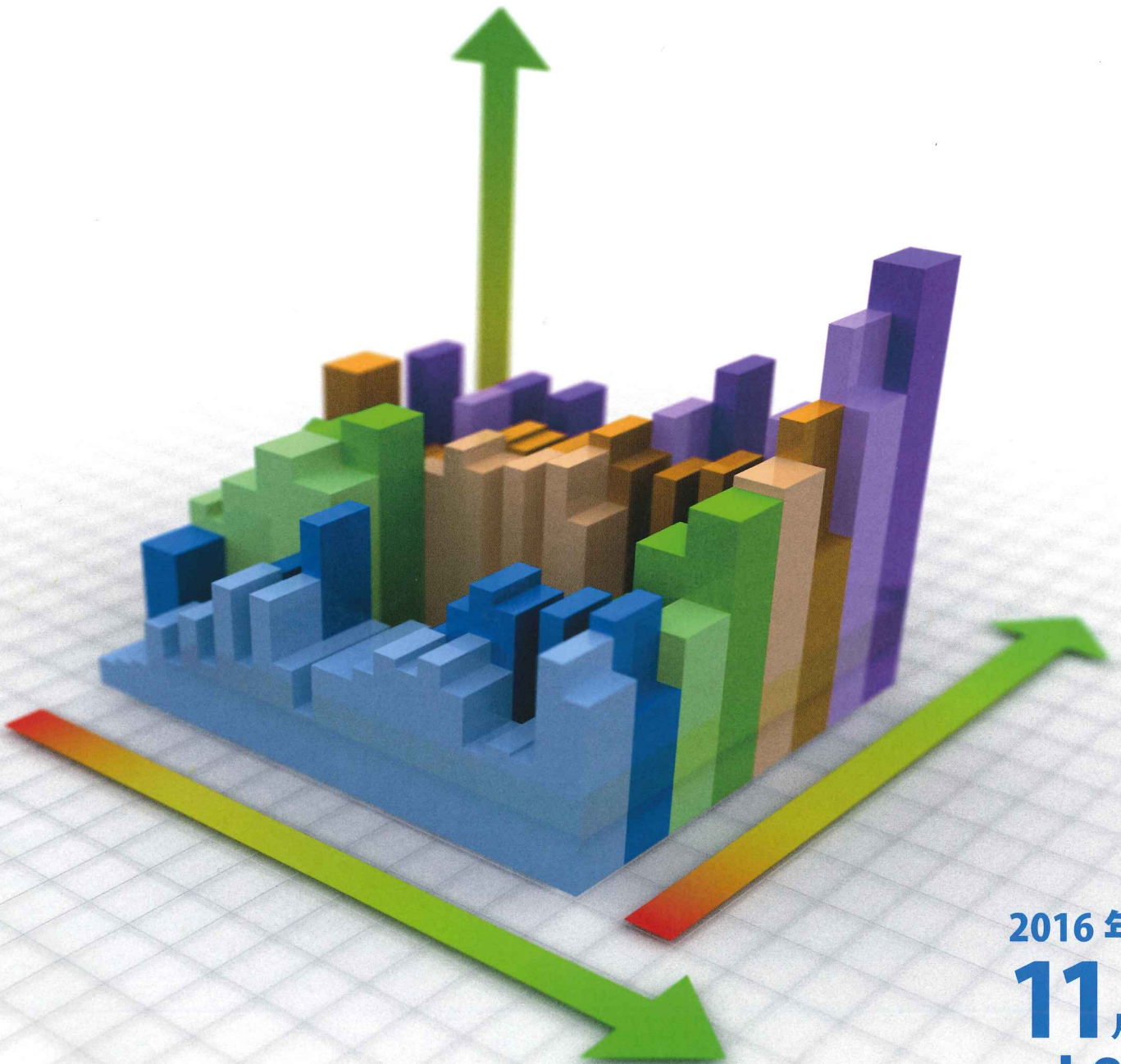
月

刊

RIETI

リーチかんさい

KANSAI



2016年
11月号
vol.80

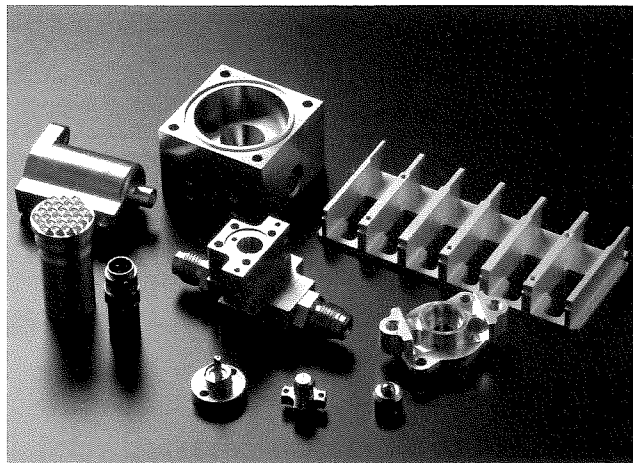


二九精密機械工業株式会社

◆創業から継承される顧客目線の技術開発

弊社は、ステンレスはもとより、チタンや Hastelloy 等の加工が難しい素材の精密切削加工を行っております。これらの素材が利用される医療分析分野から半導体分野、一般工業製品、レジャー分野に至るまで様々な業界向けに多品種少量生産で事業を行っています。

もともと、弊社は仏具の金属加工を行う店として、1917年に創業しました。千差万別である顧客の要望一つひとつに真摯に向き合い、得心がいく先祖様の供養をして頂けるよう、常に技術を磨き続け、顧客のために最善を尽くしてきました。業種は変わっても、当時より培ってきた不可能を放置しない問題解決能力や、顧客の立場に立って



精密切削加工された製品

より良い物を作るために積極的に技術提案を行う姿勢は今も根深く息づき、継承されています。

◆会社の知恵～規模の小ささを武器にした逆転発想～

弊社は一中小企業であり、経営資源には限りがあります。しかし、経営資源の限界が技術開発の限界になってはならないと考えてきました。その為、その時々で保有する「資産」を最大限に活用するために独自の工夫を行ってきました。

○工程ごとの丁寧な検査

弊社では、品質保証をより強固なものとするために、製品の完成後に行う最終検査のみでなく、各工程においても製造担当者の検査と部門責任者によるダブルチェックを行っております。その際も、担当した工程だけでなく、製品が仕上がった際に問題は発生しないかという全体最適の視点から検査をするよう指導しています。組織規模の小ささを逆に活かし、他工程の部門とも密な連携を図り、工場一丸となって品質保証に取り組んでいます。

○アナログ技術の継承

弊社では、常に最新設備を導入し、他の追随を許さない最先端の加工技術を提供しています。製造工程が機械化された現在においても、五感を研ぎ澄ませたアナログ技術も重要と考え、その継承にも力を入れています。例えば、機械の稼働音を聞くことで切削加工の調子を把握したり、市販の工具の刃先をさらに手作業で成型し、理想の形状を作ったりもします。これらは、経験によって培われた五感に頼るところが大きく、手間と時間が掛かります。コンピュータによるデジタル技術と職人の手作業であるアナログ技術を融合させていく事が品質の保持に必要不可欠だという考えのもと、長年勤務しているベテラン社員が若手社員にアナログ技術について教育する時間を設けています。



若手社員の中、最新技術と職人技術の融合が品質を保持

○部署の垣根を越えた密な連携

弊社ではものづくりや顧客サービスの提供は、全社一丸となって行うものであると考えています。その為、部署の垣根を越えたミーティングや相互

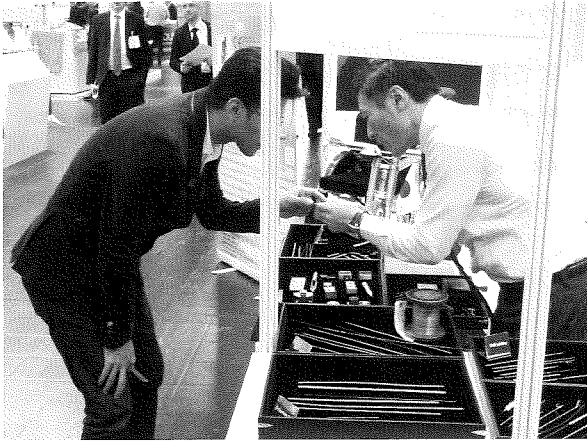
に業務のサポートを行い、常に全社で最善のサービスを提供していく姿勢を大切にしています。部署を限定しない集合教育を行う等、自らの担当業務のみでなく、幅広い視野で顧客対応が出来るように配慮しています。

◆会社の未来を築く三本柱

まもなく会社が百周年を迎える今、更に大きく飛躍する為に、弊社では独自のブランド作り、海外事業、教育制度の充実を三本柱として据えています。

○独自のブランド作り

弊社は長年、受託加工専門で事業を展開してきましたが、世界で唯一のβチタン合金小径パイプを始めとする独自技術も数多くあります。今後はこれらの技術を市場に対して積極的に打ち出し、独自製品の開発はもちろん、たとえ最終的に機械の中に組み込まれる極めて小さな部品であっても、「FUTA-Qの製品を使っている機械ならば、安心して使う事ができる」と感じて頂けるような、顧客の製品に対する更なる信用力を付与できるものづくりを行いたいと考えております。現在市場から改善が強く望まれている問題を察知し、顧客に適合した技術開発を行う「マーケットイン」の発想を大切に、それを打ち出していく事でブランド力の確立を図っていかうと考えています。



「MEDICA/COMPAMED」に出展



京都府認定ものづくりマイスターによる技能検定講習

○海外事業

昨年、ドイツ営業所を開設し、MEDICA/COMPAMED等の世界的な展示会にも6年連続出展を行う等、海外での事業展開にも重点を置いています。

主に、低侵襲性医療の発展等により微細加工に対するニーズが強い医療分野を中心に事業を進め、英語版パンフレットを作成し、英語版ホームページを充実させるなどして広報を行っております。

○教育制度の充実

弊社では、会社の総合力を向上させることを重要視しています。その為には従業員一人ひとりが業務のみならず自発的にスキルアップを重ね、着実に幅広い力をつけていく事が必要不可欠です。毎年の技能検定に向けての社内集合研修（講師：京都府認定ものづくりマイスター）の実施に加え、自己啓発に伴う費用を補助し、外部講習の受講を

支援するなど、全従業員が意欲的に成長できる環境づくりに取り組んでいます。

二九精密機械工業株式会社は、これからも確かな最先端加工技術で様々な課題にチャレンジし、新世紀に向かって力強く羽ばたいてまいります。

会社名 二九精密機械工業株式会社
 代表者 代表取締役会長 二九 宏和
 代表取締役社長 二九 良三
 住所 〒601-8454
 京都市南区唐橋経田町33-3
 連絡先 TEL 075-661-2931 FAX 075-661-2937
 設立 1953(昭和28)年(創業1917(大正6)年)
 資本金 3,000万円
 事業内容 ・メディカル・分析・産業機器・一般工業製品の
 コア機構部の開発、設計から製造
 ・精密機械部品切削加工
 ・小径βチタン合金パイプの製造/販売/提案
 ・眼鏡ゆるみ止めネジ等の販売
 ・眼鏡用線材
 U R L <http://www.futaku.co.jp/>

京都市ベンチャー企業目利き委員会Aランク認定制度・・・有望なベンチャー企業を発掘・認定し、その成長段階に応じて技術面、経営面から支援を実施する制度です。（「京都市ベンチャー企業目利き委員会Aランク認定企業」は同制度により認定された企業）
 ※京都市ベンチャー企業目利き委員会Aランク認定企業122社（平成28年9月30日現在）